

伊奈町いきいきミーティング

2019 伊奈町民討議会

実施報告書

テーマ : 2020 年町制施行 50 周年に向けて

～みんなで作ろう！50 周年記念事業～

JCI  **公益社団法人 埼玉中央青年会議所**

〒330-0845 埼玉県さいたま市大宮区仲町2-15 矢島ビル3階

Tel:048-647-3315 Fax:048-647-3316 e-mail:office@jc766.com

<http://www.jc766.com>

共催 : 伊奈町 協力 : 伊奈町商工会

はじめに

この度は、私たち公益社団法人埼玉中央青年会議所が主催させていただきました伊奈町いきいきミーティング「町民討議会」に、多くの方からご理解とご賛同を賜り、まずはこちらにご参加いただきました皆様へ心より御礼を申し上げます。また、ご共催をいただきました伊奈町様、そして伊奈町商工会、伊奈町商工会青年部、県立伊奈学園総合高等学校、私立国際学院高等学校の皆様におかれましては、本町民討議会を通してご指導ご協力を賜りました事に厚く御礼申し上げます。青年会議所は“明るい豊かな社会の実現”を理想として活動する世界規模の青年団体組織であり、日本国内には私たちと同じ青年会議所が694団体ございます。34,500名以上からなる其々の会員が地域の未来に向け、まちづくり運動や自己研鑽に日々励んでおります。そして今年度、私たち公益社団法人埼玉中央青年会議所は“継往開来～輝かしい未来のための挑戦～”というスローガンのもと、伊奈町、さいたま市、上尾市で輝かしいまちの未来を創造するべく運動展開しております。

2011年から開催しておりますこの伊奈町いきいきミーティング「町民討議会」は、皆様のご協力のもと今回で8回目の開催を迎える事ができました。今回は“2020年町制施行50周年に向けて～みんなで作ろう！50周年記念事業～”をテーマとさせていただき、未来の伊奈町に必要な地域貢献について、参加者の皆様には非常に活発で積極的な意見を出し合っていました。この討議会において導き出されたご意見をもとに報告書を作成し、民意として伊奈町へ提言書をお届けいたします。それが今後の伊奈町におけるまちづくりに反映され、町民と行政が一体となった皆が理想とするまちの実現に向けた一助となることを会員一同、心からご祈念申し上げます。

私たちは、まちに住み暮らす人々が当事者意識をもって積極的なまちづくりに関わり、まちの理想の姿を形にしていくことが、より良いまちづくりに繋がると考えております。地域に住み暮らす人達だからこそ分かることがあります。私たちはサイレントマジョリティと言われる主婦やサラリーマン、学生の方々もまちづくりに参加できる機会を創出し、町民参加・町民協働によるまちづくり運動を推進して参ります。今後とも皆様のご理解とご協力を賜り、共に運動できる事を切にお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

令和元年12月
公益社団法人埼玉中央青年会議所
理事長 木田 高史

目 次

I 事業概要	3
1. 本報告書の位置づけ	3
2. 伊奈町民討議会開催に至る経緯・日程	3
3. 町民討議会とは	3
4. 伊奈町民討議会の特徴	4
5. 伊奈町民討議会開催概要	4
6. 伊奈町民討議会報告書作成会開催概要	5
7. 伊奈町民討議会報告会開催概要	6
 II 企画から実施までの流れ	7
 III 討議会結果及び提言	12
討議テーマ:2020 年町制施行 50 周年に向けて～みんなで作ろう！50 周年記念事業～	
① 町民提言事業案まとめ	12
② 町民討議メモ	17
 IV 討議会検証アンケート・総括	25
1. 参加者開催後アンケート	25

【参考資料】

- ① 「令和元年度伊奈町民討議会」の実施に関する協定書(押印なし)
- ② 参加決定通知書及び同封した当日の参加者ガイドブック

I 事業概要

1. 本報告書の位置づけ

本報告書は、公益社団法人埼玉中央青年会議所（以下、青年会議所という。）と伊奈町（以下、町という。）が共催で実施した『伊奈町いきいきミーティング「伊奈町民討議会」』における参加者の討議結果について、『「令和元年度伊奈町民討議会」の実施に関する協定書』に基づき報告書としてまとめ、埼玉中央青年会議所から町に対して施策への反映を求め提出するものです。

2. 伊奈町民討議会開催に至る経緯・日程

町民討議会は、1970年代以降ドイツで始まった、行政への住民参画の仕組みです。ここ数年日本でも、主に青年会議所が主体となって運営をしております。地域住民がまちづくりに参画する新しい場として、また、地域住民の声の中でも特に最近重要視されている声なき声（サイレント マジョリティ）を行政へ届ける新しい手法として、今注目を集めています。伊奈町におきましては2011年に埼玉中央青年会議所が「伊奈町民討議会」を開催し、今年は8回目の開催となります。

「伊奈町いきいきミーティング」は、7月31日に町と青年会議所がパートナーシップ協定を結び、準備を進めて参りました。運営方法などについて議論を重ね、町民討議会における提言がより今回のテーマでもある「未来の伊奈町」への貢献となるように、当年度におきましては、伊奈町の学生にテーブルに入ってもらい、活発な意見交換をしていただきました。

以下の通りの日程で町民討議会を開催いたしました。

[日程]

2019年 7月31日（水） パートナーシップ協定締結

2019年 9月28日（土） 町民討議会
場所：埼玉県民活動総合センター

2019年10月26日（土） 町民討議会報告書作成会
場所：伊奈町役場

2019年11月16日（土） 町民討議会報告会
場所：伊奈町ふれあい活動センター

3. 町民討議会とは

町民討議会とは、無作為抽出による町民が集まり、まちづくりに関するテーマについて、情報提供を受けた上で話し合い、そこで出された意見を集約してまちづくりに活かす町民参画手法のひとつです。ドイツの住民自治手法である「プラーヌクスツェレ（計画細胞）※」を日本風にアレンジして取り入れたものであり、日本青年会議所が日本に紹介し、2005年に東京で実施されて以来、各地に広まっています。各種の審議会や公聴会、タウンミーティング等の住民参画手法では、行政が出席依頼した各種団体や自治会の

役員など、いつも決まった顔ぶれである場合が多いのに対し、町民討議会は、サラリーマンや主婦、学生など意見を表明したくてもなかなか出来ない人たち（サイレントマジョリティ）の意見を吸い上げることが出来ます。

※ プラヌンクスツェレ（Planungszelle＝計画細胞）とは？

ドイツのペーター・C・デーテル教授が1970年代に考案し、実施されている新しい市民（町民）参画の方法です。英語にすると、プランニングセル『計画細胞』となります。無作為抽出の市民（町民）が様々な行政・政治課題に対し討議を重ね解決策を探るプラヌンクスツェレは、民主主義の刷新を図る具体的方法として注目を集めています。

○特徴

- ① 参加者は無作為で抽出する。（住民基本台帳等の利用）
- ② 有償で一定期間の参加。（4日間が基準）
- ③ 中立的独立機関が実施機関となり、プログラムを決定する。
- ④ 原則30名で構成。
- ⑤ 専門家（利害関係の場合もある）から情報提供を受ける。
- ⑥ 毎回メンバーチェンジしながら、約5人の小グループで討議を行う。
- ⑦ 「住民答申」という形で報告書を作成し、参加した住民が正式な形で委託者に渡す。

4. 伊奈町民討議会の特徴

- (1) 伊奈町に住民登録のある16歳以上の方から、無作為抽出で選ぶ。
- (2) 伊奈町の学校にご協力いただき、学生に参加していただく。
- (3) 埼玉中央青年会議所がプログラムを選出し決定する。
- (4) 1日で1討議を行う。
- (5) 1グループは、5～6名とテーブルサポーター1名以上で構成する。
- (6) 「報告書作成会」の実施。
- (7) 報告会の実施。
- (8) 報告書と同時に提言書を提出。

5. 伊奈町民討議会開催概要

(1) 伊奈町民討議会の目的と成果

住民参画・住民協働によるまちづくりを推進することを目的として、青年会議所と伊奈町で伊奈町民討議会を共催することとしました。

無作為抽出した町民に参加依頼書を送付し参加申込みいただいた方と、伊奈町内の学校に通う学生で討議会を行いました。6テーブルで「50周年記念事業案」をそれぞれ3つにまとめ発表いただき、投票を経て順位付けをしました。また、その内容を考察し、まとめました。

(2) 開催日時

2019年9月28日（土）11：00開会

(3) 開催場所

埼玉県県民活動総合センター

(4) 参加人数

討議者27名（男性7名、女性8名、学生12名）

テーブルサポーター 24 名（公益社団法人埼玉中央青年会議所メンバー）

（５）参加者選出方法

住民基本台帳より 16 歳以上の男女 1,500 名を抽出、参加依頼書を送付
（定員 30 名）

伊奈町の学校へ協力依頼

（６）討議テーマ

2020 年町制施行 50 周年に向けて～みんなで作ろう！50 周年記念事業～

（７）討議進行方法

- ① 参加者の中で年代・性別・地域がバランスよく集まるように実行委員会があらかじめ決めたグループ各 5～6 名とテーブルサポーター 2～3 名で構成。
- ② 情報提供者によるテーマに関する情報提供を受ける。
- ③ グループの中で、発表者を決める。
- ④ グループ毎に討議用紙を使い、意見の提案・集約を行う。
- ⑤ 発表者により、グループ毎の討議結果を発表する。
- ⑥ 参加者 1 人あたり 3 ポイント分のシールを使い、同意する意見に投票する。

（８）当日タイムスケジュール

時 間	内 容
11:00	開会
11:01	主催者代表挨拶
11:06	伊奈町長挨拶
11:10	情報提供
11:45	昼食
12:50	事業説明（趣旨・進め方など）
13:00	討議
14:30	まとめ
15:00	発表
15:25	投票
15:40	アンケート記入
16:00	閉会

6. 伊奈町民討議会報告書作成会開催概要

（１）開催日時

2019 年 10 月 26 日（土） 14:00 開会

（２）開催場所

伊奈町役場

（３）参加人数

討議者 21 名（男性 6 名、女性 5 名、学生 10 名）

テーブルサポーター 22 名（公益社団法人埼玉中央青年会議所メンバー）

（４）参加者選出方法

討議会に参加した町民の希望者と伊奈町の学生及び公益社団法人埼玉中央青年会議所メ

ンバー

(5) 討議方法

グループ分けしたうえで、討議結果を踏まえて意見を出し合い提言をとりまとめる。

(6) 討議内容

まず、9月28日に行われた討議会にて各テーブルから出された意見をまとめました。
その上で最終的に、50周年記念事業としてより詳細を詰めました。

(7) 当日タイムスケジュール

時 間	内 容
14:00	開会
14:01	主催者代表挨拶
14:04	事業説明
14:10	討議：より良い50周年記念事業案にするために
15:15	まとめ
15:35	提言発表・承認
15:45	閉会

7. 伊奈町民討議会報告会開催概要

(1) 開催日時

2019年11月16日(土) 14:00開会

(2) 開催場所

伊奈町ふれあい活動センター

(3) 参加人数

討議者 25名(男性8名、女性6名、学生11名)

テーブルサポーター15名(公益社団法人埼玉中央青年会議所メンバー)

(4) 内容

10月26日に行われた報告書作成会にてまとめていただいたものを、『町民提言』として青年会議所で実施報告書としてまとめ、補足説明も含めて皆様にご報告しました。

Ⅱ 企画から実施までの流れ

【パートナーシップ協定締結】

公益社団法人埼玉中央青年会議所は、この町民討議会をより公平・公正で中立的に開催するため、2019年7月31日に、伊奈町と『パートナーシップ協定』を締結しました。特に、個人情報の取扱いについては協定書内に特記事項として明記し、その責任を明確にしました。この協定締結により、『伊奈町いきいきミーティング～伊奈町民討議会～』がスタートしました。

【事前告知】

A2サイズのポスターを50枚作成し、公共機関を中心に掲示して頂き、開催を告知しました。また、伊奈町の広報紙上でも告知をし、私共公益社団法人埼玉中央青年会議所と伊奈町が、まちづくりを考える過程で町民の声を必要としていることを広く発信しました。



ポスター



チラシ



裏面

【事前準備と募集】

7月に伊奈町と締結したパートナーシップ協定に基づき、町住民基本台帳から、無作為に16歳以上の男女を1,500名抽出し、参加依頼書、開催趣旨及び参加申込書を送付しました。

この中から参加申し込みいただいた29名の方に参加決定書と情報提供資料・討議プログラムを送付しました。

【9月28日（土）伊奈町いきいきミーティング 伊奈町民討議会】

テーマ：2020年町制施行50周年に向けて～みんなで作ろう！50周年記念事業～
町民討議会当日は町民15名と、県立伊奈学園総合高等学校及び私立国際学院高校にもご

協力頂き12名の学生にもご参加頂きました。集まった町民の方々にテーブルに分かれていただき、冒頭の主催者挨拶の後、町長からご挨拶をいただいてスタートしました。情報提供・進行説明・ルール説明を行った後に、2020年町制施行50周年に向けて～みんなで作ろう！50周年記念事業～というテーマで討議を行いました。



木田理事長 挨拶



大島町長 挨拶



町企画課政策企画担当 情報提供



討議の様子

各テーブルから発表者を決めてもらい一人持ち時間 3 分程度でそれぞれのまとめを発表していただきました。



発表の様子

【アンケート】

実際に参加していただいた方々へ参加してみての感想を中心に調査を実施しました。

【10月26日（土）報告書作成会】

9月28日の町民討議会の結果をもとに、討議会に参加いただいた町民の希望者と公益社団法人埼玉中央青年会議所のメンバー及び県立伊奈学園総合高等学校、私立国際学院高等学校の学生で、報告書作成会を開催しました。

討議会でも討議に参加された町民の皆様が投票した結果を、公益社団法人埼玉中央青年会議所が集計し、その結果をもとに報告書作成会に参加された町民の皆様へ50周年記念事業について詳細を具体化し、記念事業案をご提案いただきました。



報告書作成会の様子

【11月16日（土）報告会】

作成した報告書を伊奈町に提出するための報告会を開催しました。
当日は大熊副町長にお越しいただきご挨拶いただきました。取りまとめた内容を説明し、
討議者の皆様よりご承認いただきました。



報告会の様子

今後、本報告書と提言は、伊奈町のホームページや公益社団法人埼玉中央青年会議所のホームページ上にて閲覧・ダウンロードをできるようにし、伊奈町の発行する広報紙にて結果報告します。

公益社団法人埼玉中央青年会議所HP <http://www.jc766.com/>
伊奈町HP <http://www.town.saitama-ina.lg.jp/index.html>

町民提言事業案まとめ

テーマ： 2020年町制施行50周年に向けて
～みんなで作ろう！50周年記念事業～

町民提言

町民は

- 伊奈町のイベントに積極的に参加し、町の活性化につなげます。
- 伊奈町の新たな魅力の創造と発信に協力します。
- 美化やボランティア活動に協力し、住みやすいまちづくりに貢献します。

伊奈町には

- 伊奈町の特たの発信や、新しい魅力の創造を希望します。
- 環境と施設の整備を希望します。
- 伊奈町民の声に基づく、多くの人に参加してもらえるイベントの企画・告知・実施を希望します。

・今回の18の事業案の中から、町制施行50周年記念事業が採用され、その設営・準備に、今回の討議会に参加された人をはじめ多くの伊奈町民が協力・参加され、伊奈町と町民が共に2020年の町制施行50周年を共に盛り上げることを希望します。

・今回の18の事業案の中には、短期的には実行できないものも含まれています。50周年記念事業としてだけではなく、これからの伊奈町を町民と共に盛り上げる事業案として検討してもらえることを希望します。

①町民討議事業案まとめ(グループ別)

グループ A

記念事業テーマと詳細		得票数
1	忠次公お茶会 観光地として知られている忠次公の屋敷跡を綺麗にするイベント開催。 ・遊歩道の整備(雨の日でも歩きやすいように)/駐車場の整備(拡張・舗装)/トイレ・休憩所の設置/看板の設置(場所がわかりづらいという意見があったので、最寄り駅や近くの大通りに) ・きれいになった城跡でお茶会を開催する。	4
2	伊奈町まるかじり 伊奈町の名産品として有名な梨や巨峰、栗を狩って回るツアーの開催。 その狩った果物を、農家と料理家がコラボして考案したメニュー(ジャム、クレープ、等)に調理し、伊奈町の味覚を楽しむ。 また、コラボメニューは新たな町の名産品として駅や直売所、クリスティーヌ等のお店で販売する。	2
3	バラ祭りx伊奈まつりコラボ バラが咲いている春や秋のバラ祭りと花火大会を同日開催することで、昼はバラ、夜は花火と、来た人たちに一日中伊奈町を楽しんでもらう。 インターネットによる告知。	3

グループ B

記念事業テーマと詳細		得票数
1	伊奈忠次公仮装行列～東京でオリンピック・パラリンピックが出来るのは、忠次さんのおかげ～ 伊奈忠次公ゆかりの町として盛んに仮装行列を行う。 ・仮装・・・小学生をメインに。 ・江戸時代の風情をイメージ(衣装も) ・時期・・・5月ごろ(バラ祭りとは別?) ・伊奈氏屋敷跡(整備も兼ねる)⇔南中学校(郷土資料館) ※東京でも開催できるか?/東京にどう告知するか?	5
2	子ども収穫祭 特産品の梨、ぶどうなどの収穫体験。子どもたちの農業体験への参加を積極的に促す。 ・子どもたちに収穫体験をさせて頂く農家を募集する。 ・幼児～小学校1, 2年生を対象 ・収穫したものを使用して、後日イベントで加工品販売をする。 ・夏休み期間	2
3	南北対抗記念綱引き大会(小室村VS小針村) 伊奈町の歴史をたどり、前身である小室村と小針村に分かれて100人対100人の大規模な綱引き大会を開催する。 ・村区分の境目付近で直線のとれるところ(いなほ街道、役場周辺道路、等) ・時期・・・記念式典の当日もしくは前日当たり (参考)全体的に、小学生や学校に配布して告知する。また、SNSやホームページ等でも告知。	16

グループ C

記念事業テーマと詳細		得票数
1	緑の宝石と清流 伊奈町 アユが住む綾瀬川を作る。アユの産卵場所を作る。 ・町民に協力してもらい、自然石を集める。 ・処理場で処理された水を引いてくる。→水を増やす。 (また、休耕田である綾瀬田んぼにコウノトリを呼ぶ。緑と清流を活かし、きれいなまちづくりにつながるイベントを開催する。)	6
2	B級グルメの開発 自然を増やし、アユが増やせれば、特産物を使い、B級グルメを作る。 そして、カフェにおいてもらい、まちの活性化につなげる。 (その後、町独自のダンスやアニメも作れば、若者にもアピールできる。)	2
3	伊奈町ロードの整備 マラソンやサイクリング、ジョギングロードの整備を行い、そこで伊奈町のことを伝えるPRイベントを開催し、更なる伊奈町の発展を目指す。 →インスタ映えポイントを作る。	3

グループ D

記念事業テーマと詳細		得票数
1	通学路から始まるマナビ 小学校から大学まで、学校や生徒の紹介から、周辺施設等を紹介するガイドブックを作成する。 ・A420ページ程度の冊子 ・表紙は実際の通学風景 ・設置場所は、バス車内やシャトルの各駅 ・中学・高校・大学の計10校を対象	7
2	伊奈町～散歩・散策・散思～ バラ公園など、ウォーキングやスタンプラリーで伊奈町の魅力を紹介していく。 ・伊奈町全体を使ったスタンプラリー ・景品は、伊奈町の特産品や人形 ・通年開催	1
3	夢いっぱい・花いっぱい 自然が豊かな町だが、もっと広く花やオリーブなどを植樹して町全体の緑を豊かにする運動。 ・伊奈町の街道沿いに植える。 ・伊奈町民に参加を呼び掛ける。	2

グループ E

記念事業テーマと詳細		得票数
1	INA 50th Anniversary 伊奈全域でウォーキング大会（自然を見て回る）、花火大会（記念花火、バラをイメージ）等の開催。参加者にはシャトル利用料金半額やテッパク割引。 ・伊奈町桜名所めぐりウォーキング <スタート> 丸山駅→伊奈忠次公屋敷跡→綾瀬川（休憩所）→郷土資料館→無線山→バラ公園→GOAL（花火大会開催）	2
2	伊奈でバラランチ～made from INA～ 特産品（梨、ブドウ、のらぼう菜、ユリ、バラ、栗）をふんだんに使ったスイーツ、キッシュ、飲み物の製作。バラの花をつけたワインやアイスクリーム、サンドイッチ、ライスケーキ、ケーキ、等。 場所：中部公園（伊奈中央駅すぐ） 調理する人：伊奈町民から公募（ボランティア） メニューのデザイン、アイデア：学生から募集	1
3	伊奈は日本を越えた～世界のバラバラが一つに～ 様々な言語によって伊奈町PR動画（ショート/ロングバージョン）を作り、YoutubeやNack5から発信する。 内容：伊奈の名所、住みやすさ、良いところ、等 →ストーリー性を重視。伊奈に縁を持つ芸能人を起用。複数の言語（日本語、英語、中国語、等）で作る。 →バラの町と言われるオレゴン州ポートランドと友好都市条約を締結する。バラを通じた交流。	5

グループ F

記念事業テーマと詳細		得票数
1	植樹 場所：町役場前 時期：伊奈町が出来た日（11月1日） 内容：50周年にちなみ、金木犀を50本植樹する。 （町の木に指定されている金木犀をもっとアピールするために、香りのついたものをプレゼントしたり、もっと植えていくことで、金木犀の香るまちづくりをする。）	2
2	伊奈高×伊奈 県立伊奈学園総合高等学校、私立国際学院高等学校、私立栄北高等学校に問い合わせをし、伊奈町の特産品（ブドウ、ナシ、バラ、等）で商品開発をする。 →50周年イベントで町民の方々に食べていただき、投票する。 →お店で取り扱ってもらい販売する。	7
3	50周年田んぼアート 場所：綾瀬川周辺、新幹線線路脇、等 時期：収穫前 内容：デザインを町民から募集→町民参加型田植え→成長過程をSNS発信→アート完成お披露目会→町民参加型収穫祭 ⇒収穫したお米を参加した町民にプレゼントする。	8

①町民討議事業案まとめ(カテゴリー別)

<歴史>

記念事業テーマと詳細		得票数
B	南北対抗記念綱引き大会(小室村VS小針村) 伊奈町の歴史をたどり、前身である小室村と小針村に分かれて100人対100人の大規模な綱引き大会を開催する。 ・村区分の境目付近で直線のとれるところ(いなほ街道、役場周辺道路、等) ・時期・・・記念式典の当日もしくは前日当たり (参考)全体的に、小学生や学校に配布して告知する。また、SNSやホームページ等でも告知。	16
	伊奈忠次公仮装行列～東京でオリンピック・パラリンピックが出来るのは、忠次さんのおかげ～ 伊奈忠次公ゆかりの町として盛大に仮装行列を行う。 ・仮装・・・小学生をメインに。 ・江戸時代の風情をイメージ(衣装も) ・時期・・・5月ごろ(バラ祭りとは別?) ・伊奈氏屋敷跡(整備も兼ねる)⇄南中学校(郷土資料館) ※東京でも開催できるか?/東京にどう告知するか?	5
	忠次公お茶会 観光地として知られている忠次公の屋敷跡を綺麗にするイベント開催。 ・遊歩道の整備(雨の日でも歩きやすいように)/駐車場の整備(拡張・舗装)/トイレ・休憩所の設置/看板の設置(場所がわかりづらいという意見があったので、最寄り駅や近くの大通りに) ・きれいになった城跡でお茶会を開催する。	4

<自然>

記念事業テーマと詳細		得票数
F	50周年田んぼアート 場所:綾瀬川周辺、新幹線線路脇、等 時期:収穫前 内容:デザインを町民から募集→町民参加型田植え→成長過程をSNS発信→アート完成お披露目会→町民参加型収穫祭 ⇒収穫したお米を参加した町民にプレゼントする。	8
	緑の宝石と清流 伊奈町 アユが住む綾瀬川を作る。アユの産卵場所を作る。 ・町民に協力してもらい、自然石を集める。 ・処理場で処理された水を引いてくる。→水を増やす。 (また、休耕田である綾瀬田んぼにコウノトリを呼ぶ。緑と清流を活かし、きれいなまちづくりにつながるイベントを開催する。)	6
	植樹 場所:町役場前 時期:伊奈町が出来た日(11月1日) 内容:50周年にちなみ、金木犀を50本植樹する。 (町の木に指定されている金木犀をもっとアピールするために、香りのついたものをプレゼントしたり、もっと植えていくことで、金木犀の香るまちづくりをする。)	2
D	夢いっぱい・花いっぱい 自然が豊かな町だが、もっと広く花やオリーブなどを植樹して町全体の緑を豊かにする運動。 ・伊奈町の街道沿いに植える。 ・伊奈町民に参加を呼び掛ける。	2

<学校>

記念事業テーマと詳細		得票数
D	通学路から始まるマナビ 小学校から大学まで、学校や生徒の紹介から、周辺施設等を紹介するガイドブックを作成する。 ・A420ページ程度の冊子 ・表紙は実際の通学風景 ・設置場所は、バス車内やシャトルの各駅 ・中学・高校・大学の計10校を対象	7
	伊奈高x伊奈 県立伊奈学園総合高等学校、私立国際学院高等学校、私立栄北高等学校に問い合わせをし、伊奈町の特産品(ブドウ、ナシ、バラ、等)で商品開発をする。 →50周年イベントで町民の方々に食べていただき、投票する。 →お店で取り扱ってもらい販売する。	7

<イベント>

記念事業テーマと詳細		得票数
E	伊奈は日本を越えた～世界のバラバラが一つに～ 様々な言語によって伊奈町PR動画(ショート/ロングバージョン)を作り、YoutubeやNack5から発信する。 内容:伊奈の名所、住みやすさ、良いところ、等 →ストーリー性を重視。伊奈に縁を持つ芸能人を起用。複数の言語(日本語、英語、中国語、等)で作る。 ⇒バラの町と言われるオレゴン州ポートランドと友好都市条約を締結する。バラを通じた交流。	5
A	バラ祭りx伊奈まつりコラボ バラが咲いている春や秋のバラ祭りと花火大会を同日開催することで、昼はバラ、夜は花火と、来た人たちに一日中伊奈町を楽しんでもらう。 インターネットによる告知。	3
C	伊奈町ロードの整備 マラソンやサイクリング、ジョギングロードの整備を行い、そこで伊奈町のことを伝えるPRイベントを開催し、更なる伊奈町の発展を目指す。 →インスタ映えポイントを作る。	3
E	INA 50th Anniversary 伊奈全域でウォーキング大会(自然を見て回る)、花火大会(記念花火、バラをイメージ)等の開催。参加者にはシャトル利用料金半額やテックバック割引。 ・伊奈町桜名所めぐりウォーキング <スタート>丸山駅→伊奈忠次公屋敷跡→綾瀬川(休憩所)→郷土資料館→無線山→バラ公園→GOAL(花火大会開催)	2
D	伊奈町～散歩・散策・散思～ バラ公園など、ウォーキングやスタンプラリーで伊奈町の魅力を紹介していく。 ・伊奈町全体を使ったスタンプラリー ・景品は、伊奈町の特産品や人形 ・通年開催	1

<特産品>

記念事業テーマと詳細		得票数
A	伊奈町まるかじり 伊奈町の名産品として有名な梨や巨峰、栗を狩って回るツアーの開催。 その狩った果物を、農家と料理家がコラボして考案したメニュー(ジャム、クレープ、等)に調理し、伊奈町の味覚を楽しむ。 また、コラボメニューは新たな町の名産品として駅や直売所、クリスティーヌ等のお店で販売する。	2
B	子ども収穫祭 特産品の梨、ぶどうなどの収穫体験。子どもたちの農業体験への参加を積極的に促す。 ・子どもたちに収穫体験をさせて頂く農家を募集する。 ・幼児～小学校1、2年生を対象 ・収穫したものを使用して、後日イベントで加工品販売をする。 ・夏休み期間	2
C	B級グルメの開発 自然を増やし、アユが増やせれば、特産物を使い、B級グルメを作る。 そして、カフェにおいてもらい、まちの活性化につなげる。 (その後、町独自のダンスやアニメも作れば、若者にもアピールできる。)	2
E	伊奈でランチ～made from INA～ 特産品(梨、ブドウ、のらぼう菜、ユリ、バラ、栗)をふんだんに使ったスイーツ、キッシュ、飲み物の製作。バラの花をつけたワインやアイスクリーム、サンドイッチ、ライスケーキ、ケーキ、等。 場所:中部公園(伊奈中央駅すぐ) 調理する人:伊奈町民から公募(ボランティア) メニューのデザイン、アイデア:学生から募集	1

②各チーム討議会メモ

グループA		
カテゴリー	個別意見	
忠次公	田圃への不法投棄をなくす	
	お茶会を開く	
	住民同士のコミュニケーションを含めた清掃イベントを開催	
	観光地の遊歩道整備	
	観光地の場所を分かりやすく	
	忠次公	
	公園の整備	
花火	花火	
	季節の概念を覆す	
	花火の宣伝ビラ	
	花火を打ち上げられる	
	花火とバラ祭りを一緒に	
	バラの季節の花火大会	
告知	ネットで発信(他と違うところをアピール)	
	電車、駅でビラを貼る(大宮駅など)	
	伊奈町の計画を実行できるように	
	ホームページでの宣伝や電車の広告など	
特産品	自分で収穫した果物を加工(ジュース、シャーベットなど)して楽しむ	
	梨、ぶどうなどの収穫祭(梨祭り、ぶどう祭り)	
	梨を使った名産品50周年記念として	
	料理家とコラボした料理作り	
その他	都心に近い	
	緑豊か	
	住みやすそう	
	日の出が遅いので朝のウォーキングが30分遅くなる	
	県の中心部で人が集まりやすい(交通網が発達している)	
	自然豊かなところ	
	圧迫感がない、開放的	
	町民が明るい	
	学校間の交流が盛ん	
	道が広い交通が便利	
	まとめ	得票
1	忠次公お茶会	4
2	伊奈町まるかじり	2
3	バラ祭りx伊奈まつりコラボ	3
備考		

②各チーム討議会メモ

グループB		
カテゴリー	個別意見	
イベント	記念式典に際して各地区毎に50人(50周年)で綱引き大会をする。又は各地区ごとに50人で伊奈町音頭のパレードをする。	
	伊奈町に住んでいる方々も楽しめるようにして、学校で球技大会を行う	
	伊奈まつりの規模を大きくする	
	バラまつりで町民にバラの苗木を配る	
	季節に応じて、何かお祭りをやる(ハロウィン、クリスマスなど)	
	パークゴルフ場を作ってほしい	
	伊奈祭りをもっと広範囲で繰り広げる(パレード、仮装など)	
	花火大会で50連発の花火を打ち上げる	
	伊奈忠次に仮装して役場周辺を歩く	
	無線山で野外コンサート	
自然	伊奈忠次公 顕彰事業 散策路完成、原市沼復興、未来への役割	
	歩行者にやさしい道路	
	綾瀬川をきれいにする作業を町民で一斉にして、子供が遊べるようにする	
	公園を増やすより公園をもっと魅力のある憩いの場にする	
	小さい子供が遊べるように公園をきれいにする。(遊具を増やす)	
	無線山の桜の植え替えをする。もっと広い公園に	
	バラ公園に来た人が伊奈屋敷跡まで流れるようにする	
	バラ園と隣のアジサイ園と水辺をきれいにする	
特産品	特産品をもっとコマーシャルする	
	地元のフルーツを使ったスイーツなどを作ってスイーツのフェスみたいなものを開催する	
	梨ジュース	
その他	伊奈町50周年をマスコミにPRして伊奈町を知ってもらう	
	ニューシャトルの駅名にサブネームを(丸山・・・伊奈忠次・・・前)(羽貫・・・伊奈学園前)とか	
	伊奈一羽貫など暗い道や公園に外灯を増やす。	
	町民が優先される公共施設の予約システムに	
	公務員または議員が町会、地域に入る機会を作る	
	住民が行政に入るのではなく行政が住民に入っていくしくみ	
	伊奈町の立地、田園地帯、新幹線、東京北部	
	都心から一番近い田舎	
	南部に住んでいる人と北部に住んでいる人の価値観の違い	
	住民皆参加アパート住人も行政に組み入れる回覧、配布物	
	町の行事は南部にも	
	伊奈サミット近郊市町村との共有推進	
	まとめ	得票
1	伊奈忠次公仮装行列	5
2	子ども収穫祭	2
3	南北対抗記念綱引き大会	16
備考		

②各チーム討議会メモ

グループC		
カテゴリー	個別意見	
自然	緑が豊か、自然が多い、癒し	
	アユの住む綾瀬川づくり	
	大針・北の森にオオタカが住み続けられるように	
	綾瀬田んぼにコウノトリを呼ぶ	
	無線山のサクラ再生	
	田畑の荒廃を防ぐために皆で農業を(クライルガルデン/ドイツ)	
住みやすさ	住みやすく家賃も安い、静か	
	若いファミリー層が多く移住してきている(新居を建てる人が多い)	
	四季彩館のフルーツや野菜が安くて美味しい	
	高齢者に優しい	
	JR蓮田駅は利用しやすい(東大宮が混雑するので、その前に乗降車しやすい)	
	待機児童の数が少なく、子育てしやすい	
	病院が充実している	
町の魅力	伊奈町産のワイン・ビール・どぶろく	
	レンタル自転車がある	
	伊奈学の文化祭がすごい	
	花火大会がすごい	
行政	町民のための活動が多い	
	政府のやる気がある	
	情報を公開する等、他の地域の人を呼べる活動	
	県活のパンフレットに伊奈についてのものがないのは何故？	
さらに発展	伊奈町に七福神参りができるように作って欲しい	
	無線山で竹林コンサート	
	B級グルメでマラソン大会を盛り上げる	
	ニューシャトルと鉄博と、伊奈のカフェや梨狩り・ブドウ狩りなどをセットで売り込む	
	田舎に移住してみたい人たちに体験してもらう機会を作る	
	インスタ映えするスポットや、梨やブドウを使ったスイーツ。かき氷、パフェ、タピオカなど。	
	おしゃれなカフェ、古民家カフェもあるので、B級グルメなどで盛り上げる。	
	ジョギングロードを活かしたマラソン大会(綾瀬川沿い10キロの道路を利用)	
	町独自のダンスやアニメを作成する	
	オリンピックの際、来日外国人に梨狩り・ブドウ狩りを体験してもらう	
	自転車日本一周している人達など、ライダーに優しいまちづくり	
	緑と清流を活かす事業	
	Youtuberとコラボ	
	まとめ	得票
1	緑の宝石と清流 伊奈町	6
2	伊奈町ロードの整備	3
3	B級グルメの開発	2
備考		

②各チーム討議会メモ

グループD		
カテゴリー	個別意見	
学校	発信方法	
	駅に置く	
	SNSで広める	
	伊奈町学校ガイドブック(イメージアップ、通学の様子なども)	
	若者が多くにぎやかな場所が多い	
	学校が多く文武に優れている	
	若い人たちが多い(将来の希望)	
	高校三校(一部で有名)	
	大学もある(若い人たちの進路がいっぱい)	
	乗馬クラブがある	
	学校がすごい(小針北小学校の児童数が多い)	
自然	桜が見事	
	ジョギングロードがある。	
	花いっぱい運動	
	オリーブの木いっぱい運動	
	バラ園が見事	
交通	交通の便が良い(シャトルで大宮へ、バスで大宮へ、バスで上尾へ行ける)	
	ニューシャトル車両基地がある。(祭りの時は子どもや鉄道ファンでにぎわう)	
伝統文化	ゆめくるは楽しい(緑が多い。虫が、鳥が季節を教えてくれる)	
	食べ物はぶどう、なし。夏野菜はトマト、キュウリ、ナス、すべてがとりたてでおいしい。	
	盆栽が有名	
	古い行事が一部残っている(祭り等)	
	セグウェイ道路	
	真っ平な町を生かしたイベント	
	浅草サンバカーニバルや三軒茶屋サンバカーニバルのようなサンバイイベントの実施	
	おだやかな風土	
	安全地帯	
	芸術家がいる	
	田んぼに囲まれたウォーキングロード	
	県活で時々行われる音楽コンサート	
	伊奈町の歴史をまとめた博物館	
	芸術村、工房村	
行事	フリー大会を伊奈町主催	
	バラ公園のバスケット、いな祭り(クラスのみんなと楽しく遊べる)	
	まとめ	得票
1	通学路から始まるマナビ	7
2	伊奈町～散歩・散策・散思～	1
3	夢いっぱい・花いっぱい	2
備考		

②各チーム討議会メモ

グループE	
カテゴリー	個別意見
イベント	フェスを行う(ウォーキング、農産物展示会、地産地消製品の発表会)
	50th記念花火大会(50th記念を盛大に祝うため、できれば屋台に、伊奈の魅力を発信してくれるようなところがあると)
	歩け歩け大会(3DAYS)伊奈町の自然を見ながら誰でも参加できるイベント
	新しいスタートなので万人受けする新しいイベントを催す
	50にちなんでユニクス等とコラボして最大50%OFFの抽選会を開く
	ニューシャトルとコラボ、祭りの日は半額(可能ならタダ)
	バラ公園の魅力を配信(実はBBQもできる)
	マラソンを行う(ウォーキング)自然がみれるから
	鉄道博物館とコラボ(夏祭りに参加すると割引)
特産品	特産品の食品(商品)
	メーカーとコラボした食品を売り出して、伊奈町の魅力を知ってもらう
	50th記念スイーツ(形やデザインは、町民から募集する、使う材料はすべて伊奈町で作られたもの)
	バラの花をつけたワインを作る(飲用花?)(50周年という新しいスタートとともに熟成のように成長していく意味)
	バラを愛する町ということからバラに関連するスイーツや食べ物を共同開発して祭りやイベントで発信する
	伊奈町でできた農作物を利用して、伊奈町の魅力を伝えられる商品づくり(地産地消につなげる)
	若い層へ向けた特産品を使ったスイーツなどをつくる(クレープやタルト等)
	特産品を使ったお店をまつりなどで出店
	コンビニとかとコラボレーションして売り出す。
発信	バラ祭りをさらに派手に(50というデザインの花火やバラの形の花火を打ち上げる)
	伊奈町PR動画(各病院、公共施設(学校)、民間企業)
	50周年記念事業友好都市を作る！オレゴン州、ポートランド、バラの街

その他	学生から見て交通の便が良い	
	福祉施設が充実している(病院など)	
	病院が充実している(いろいろな科がある)	
	医療制度が充実している(中学まで無料)	
	病院、医院が多くサポート感が強い	
	都会と田舎の中心のような所なので様々な風景が見える	
	バラ公園がある	
	緑が多く環境が良い	
	自然が多い	
	緑豊かで農業がさかん	
	祭りが充実している(さくら、バラ祭り、夏祭り、運動会)	
	ニューシャトルが10分or5分置きに運行している	
	ニューシャトルの利用者が増えている(大学、高校)	
	イベントに力を入れている	
	災害時の対応が良い	
	伊奈の人は優しい	
	人と人のつながりが多い(歩いているとあいさつをしてもらえる)	
	公告を使う	
	病院や医院などで町民向けの勉強会などイベント	
	口コミする(TWITTER、FACEBOOK)	
	農業についてフェスを行う	
	病院に行けるためのバスをさらに増便	
	伊奈町の人々は優しい	
	伊奈町の歴史にもとづいたイベントがある	
	伊奈町にお医者さんをさらに呼び込む(奨励する)	
	子育てしやすい町とアピールする。(3世帯でも安心)(ポスター等)	
	出張病院などのサービスを作る(院内感染を防ぎつつ一人身対策)	
	自然豊かな環境を守るため定期的にゴミ拾いボランティアを募集する	
	教育関連のイベントが多く、学習をサポートしてくれる	
	他の市や町にこびてない	
	バラの町	
	遊歩道の整備	
	地域のつながりが深く誰にとっても住みよい町	
	祭りに力を入れている	
	古くから長く続く歴史がある	
	高齢な方も住みやすい町(交通の便)	
	災害等に対する情報網が強く安心安全	
	公園マップ	
	まとめ	得票
1	INA 50th Anniversary	2
2	伊奈でランチ～made from INA～	1
3	伊奈は日本を越えた～世界のバラバラが一つに～	5
備考		

②各チーム討議会メモ

グループF		
カテゴリー	個別意見	
特産品	梨、ぶどう、プラム	
	クリスティーヌみたいな口コミ人気がある店を集めたグルメイベント(投票?)	
	めぐるスタンプラリー(プレゼントキンモクセイ)	
	フライングガーデンやココスなどがある	
	クリスティーヌがある	
	伊奈グルメをめぐる(マラソン、ラリー)	
	伊奈祭りに出席	
	歩き果物巡り(途中クレープ)	
	クリスティーヌInstagram	
	伊奈の知人ぞ知る人気店クリスティーヌを広げよ	
自然	田んぼアート(新幹線やニューシャトルから見渡せる学生作品)	
	キンモクセイをもっと植え、香る町に	
	50周年で配布。プレゼント(苗木、花、香りのついたもの)(コラボ、加工品、町のローソク屋さん)	
	昼食に伊奈食べ歩きバラのクレープ(参加者プレゼントで金木犀)	
	自然	
	緑がある	
	緑豊かで落ち着ける(木々が多い、自然いっぱい)	
	バラが美しい、無線山、丸山等の自然が美しい	
学校	伊奈学	
	伊奈学学園祭⇒コラボ食品	
	学園祭で生徒会とコラボ(特産品を使って商品開発)	
	伊奈学×伊奈町特産品(食品開発、ショップの運営(バラ、梨、ぶどう))	
その他	大宮から近い	
	ユニクスがあって便利	
	50周年ウェディング(50歳伊奈同級生おめでとう会)	
	自然をいかした田圃アート(新幹線とニューシャトルから見える)	
	まとめ	得票
1	伊奈グルメウォーキング～金木犀をそえて～	2
2	伊奈学×伊奈	7
3	50周年田んぼアート	8
備考		

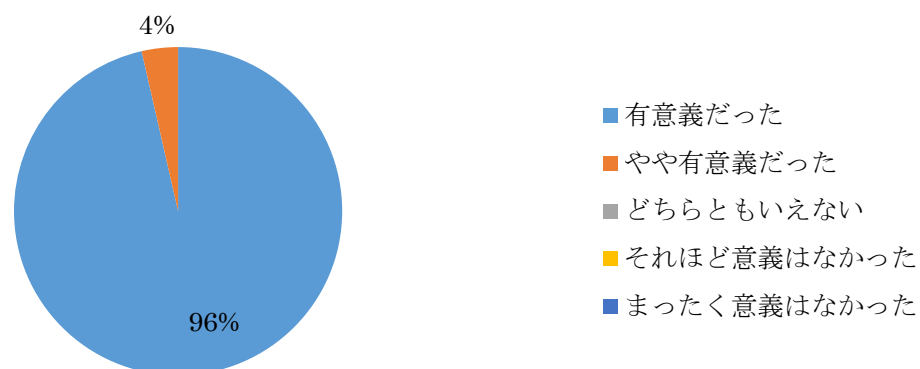
②各チーム討議会メモ

JCテーブル	※参考までに
カテゴリー	個別意見
ゆるキャラ	イベント用の巨大ふわふわローズくんを作り、各地でアピールする
	幸せ家族計画(他の自治体のゆるキャラとのカップリング、マッチングをし、子どもの新キャラ)
	伊奈忠次公仕様の甲冑ローズくん
	ローズ一家大集合
	ジェンダーレス仕様のローズくん・ちゃん
イベント	ドローン・サバゲー・スケボー大会
	遊園地やサーカスを呼ぶ
	ニューシャトルの壁画事業
	ニューシャトルをデコレーションする。イルミネーションで彩る。
その他	50周年の企業とコラボ(ヤマザキナビスコ、花王など)
	ニューシャトルの駅に居酒屋、足湯
	新幹線の駅を誘致する

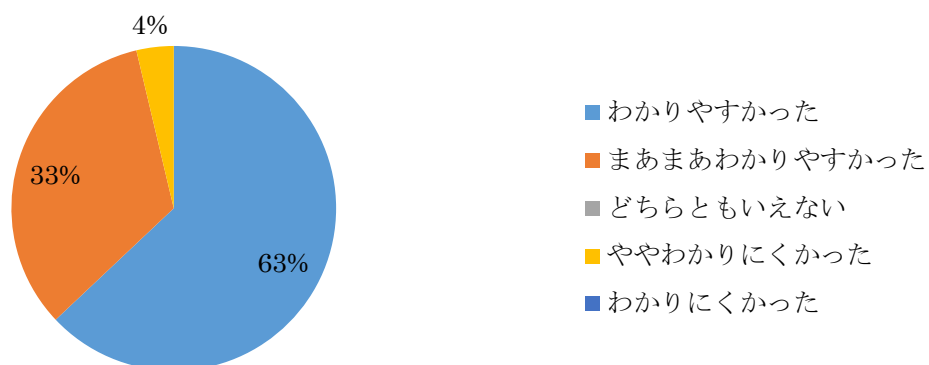
V 討議会検証アンケート・総括

1 参加者開催後 アンケート結果 (回答者数 28 名)

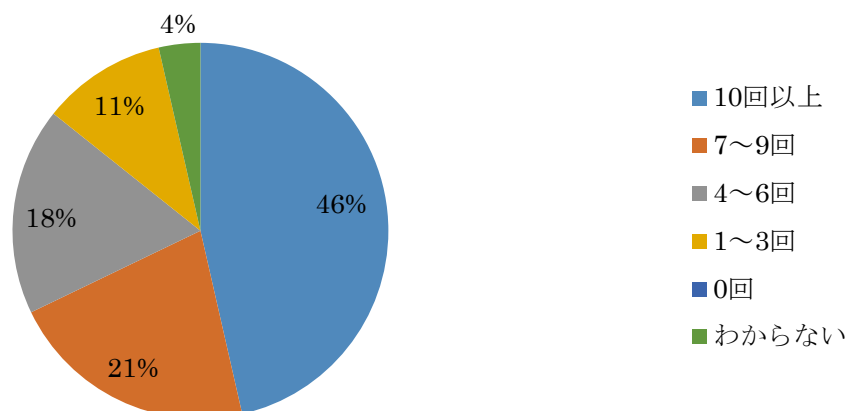
1. 討議会に参加されていかがでしたか？



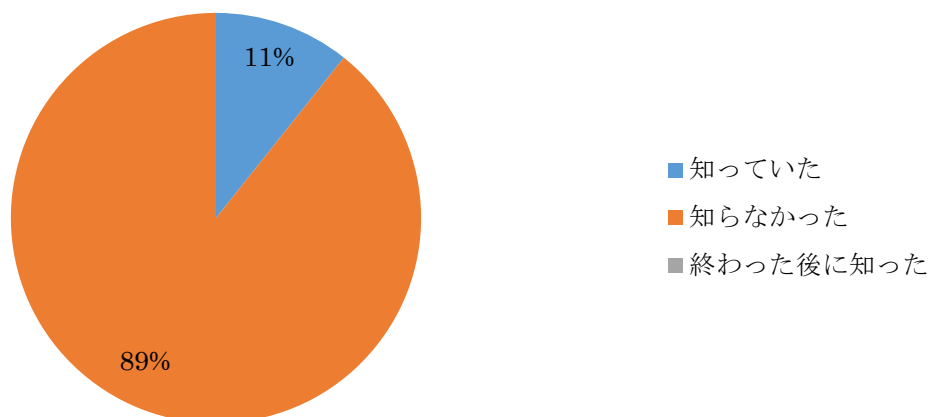
2. 討議の進め方はいかがでしたか？



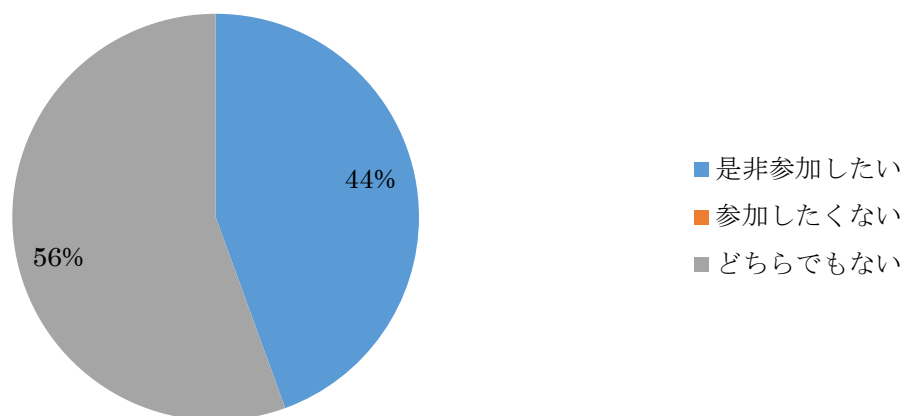
3. テーマを討議する際、だいたい平均して何回くらい発言されましたか？



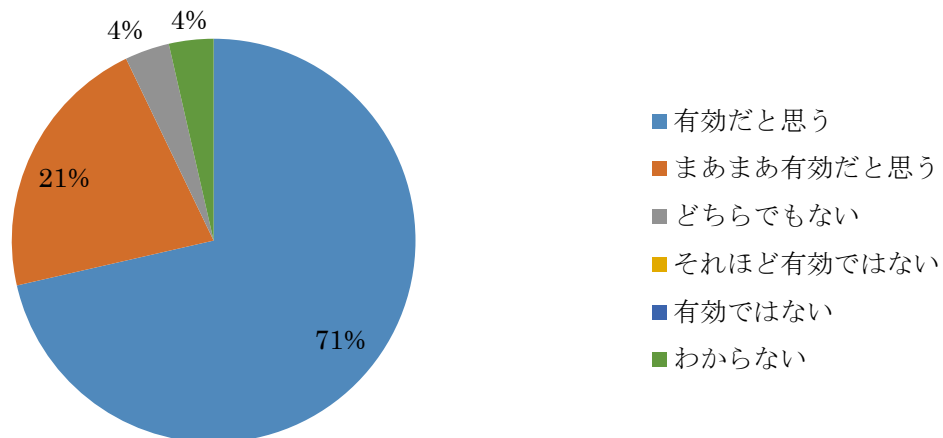
4. 昨年と同じように町民討議会が開催されていましたが知っていましたか？



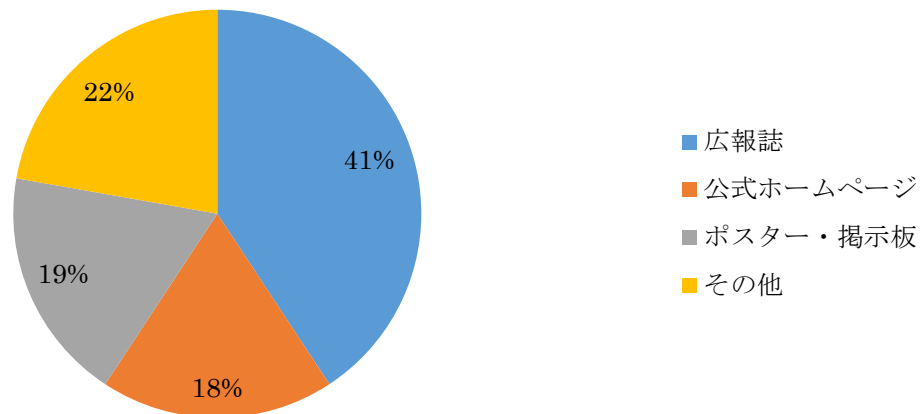
5. 来年も開催されるとしたら参加したいと思いますか？



6. 町民討議会は町民の声を町政に反映させるのに有効な方法であるとされておりますが、実際に参加してみてどう思われましたか？



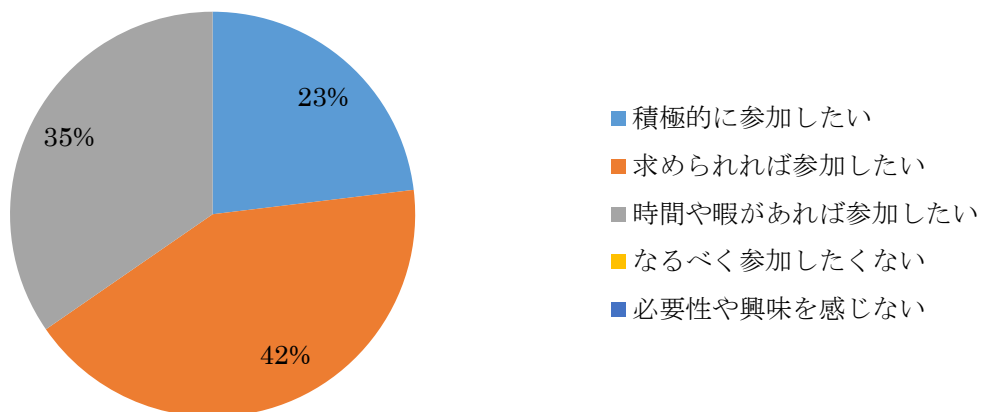
7. 地域活動の情報についてどのような方法や媒体で発信されると有効だと思いますか？



※その他の意見

・ Y o u t u b e 等の掲示版、ツイッター、インスタグラム、W e b、S N S

8. これからの地域活動への参加についてどのようにお考えですか？



9. 8. ①積極的に参加したい、②求められれば参加したい、③時間や暇があれば参加したいと答えた方へ伺います、どのような地域活動に参加したいですか？具体的にお書き下さい。

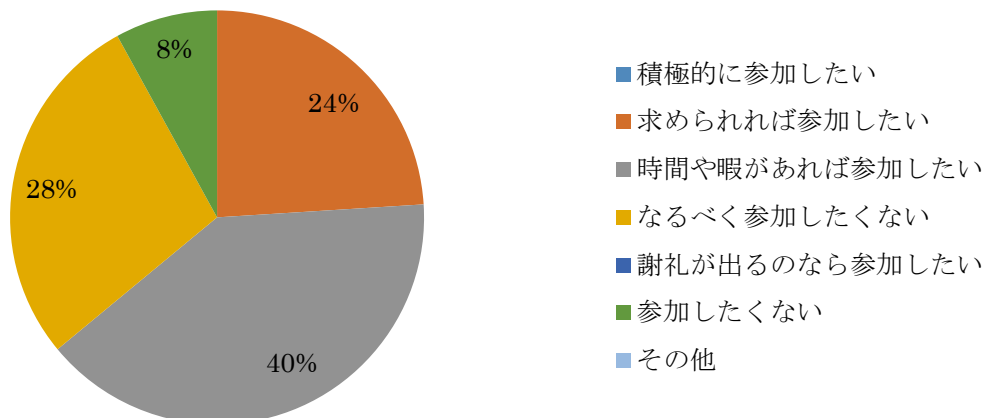
- ・ 全般的
- ・ 自然を豊かにするような活動
- ・ 若い人も参加できるような応援していくような企画
- ・ 町をきれいにする。ゴミ拾いなど。
- ・ 伊奈忠次公関連事業を完成させてほしい。
- ・ 伊奈まつり
- ・ 実際に体験できるもの
- ・ イベントでのボランティア（マラソン等）

- ・清掃活動
- ・自然環境の保全、再生活動、環境教育。
- ・伊奈町を発展させるための活動
- ・伊奈町を発展させるための企画
- ・バラ祭り、伊奈祭り、文化祭など
- ・自然や特産品に関する内容
- ・地域に関する勉強会のようなイベント
- ・ゴミそうじ、祭りのボランティア
- ・今回のような町政へ訴える話し合い、清掃イベント
- ・地域住民活動
- ・森林保護など、環境に関わる事
- ・伊奈町的发展に貢献できるようなイベントであればどれでもOK
- ・自分の職業や趣味などを活かしたイベントや活動
- ・討議会等の地域住民で集まり話し合う会
- ・地域のPR活動や教育活動など
- ・バラまつりや伊奈まつり、各種ボランティア
- ・町がよくなることであれば基本

10. 8. ④なるべく参加したくない、⑤必要性や興味を感じないと答えた方へ伺います、それはなぜですか？具体的にお書き下さい。

この質問には回答はありませんでした。

11. 次回同じような討議会を行った場合、今度はテーブルサポーターなどの運営側でのご参加はいただけますか？



12. 町民討議会について、ご意見・ご感想などをご記入下さい。(内容は自由です)

- ・とても参考になり、良い1日とさせて頂きました。みなさんの良い考え方にとても良かったです。
- ・小学校や中学校からの意見も取り入れたら良いと思うので、小学校6年生全体の意見、中学校から各学年の意見などをもらったら良いと思う。
- ・若い世代の人の考え等聞けて良かったです。司会の方もわかりやすく良かったです。
- ・私は伊奈町に住んでいる訳ではないので、討論会に貢献できるか不安だったけど、町民の方々と会話しながらたくさんの意見を出せたので良かったです。
- ・公主導、町主導でないと、地域で摩擦が起こる。地域に入る機会を作ってもらいたい。
- ・このような町民同士が集まって話し合う機会が今までなかったので、いい機会になったと思います。
- ・引っ越してきて3ヶ月目でこうした討議会に参加することができ、楽しく話し合いができ、有意義でした。
- ・町民からの意見がもっと伝わることをアピールして頂きたい。どれほど変化があるのか分からない。
- ・伊奈町についてよく知るとても良い機会になりました。この討議会を通じて伊奈町がより良い町になればいいなと思います。
- ・今回の50周年記念事業計画の素案がまとまった段階で今回の参加者に周知してほしい。
同じグループの方々とたくさん会話をして意見交換ができて、とても楽しい時間でした。ありがとうございました。
- ・とても楽しく議論ができ、有意義な時間を過ごせました。この経験をこれからの出来事に活かしていきたい。ありがとうございました。
- ・良かったです。若い方々とのトーク、フレッシュで私も勉強させられました。
- ・地域に関する情報提供の説明が丁寧であった。またお弁当も伊奈のお店のもので良い。
- ・全体的に「地域を考える会」として細かいところまで、会が作られていたという印象だった。
- ・最初は知らない人と話すことは勇気がいるが最終的に楽しかったのでよかった。
- ・回数を増やして、住民の声を町づくりに活かしてほしい
- ・テーマが明確でとても話し合いやすかったです
- ・楽しく有意義な時間をありがとうございました
- ・若い年齢層の方々と交流でき、考え方を聞く機会があり、とても良かったです。
- ・もう少し自由な発想で構えていたけれど、50周年に向けてとなると少しばかり発想が制限される感じも受けていた。でもとても有意義だった。

委員会考察：

参加してみての感想では、全ての参加者が有意義だったとお答え下さり、討議の進め方においても、わかりやすかったという結果を多くいただきました。

2020年の町制施行50周年をテーマにしたことで、地域活動を身近に感じて頂く機会となり、全ての方が今後の地域活動に参加したいとお答え下さったと考えますが、受動的な参加意識の方が多くみられました。多くの方が広報紙による発信が有効だとお考えですが、昨年のアンケート結果よりもSNS等とお答えになる方が増えていますので、より告知の手法を考え、力を入れるべきだと考えます。

また、若い世代との情報交換を有効だとお答えになる方が多いので、若い世代の意見を聞く機会を作ることがこれからの伊奈町の発展に有効だと考えます。

参考資料

「令和元年度伊奈町民討議会」の実施に関する協定書

伊奈町

公益社団法人埼玉中央青年会議所

「令和元年度 伊奈町民討議会」の実施に関する協定書

伊奈町（以下「町」という。）と公益社団法人埼玉中央青年会議所（以下「青年会議所」という。）は、普段声を発する機会の少ない町民が町政へ参加するきっかけをつくり、町民参加・町民協働によるまちづくりを推進するため、無作為抽出による町民がまちづくりの課題について討議する「令和元年度 伊奈町民討議会」（以下「町民討議会」という。）を共催するものとし、その運営等に関し、次のとおり協定を締結する。

（目的）

第1条 この協定書は、町民討議会の開催に伴う個人情報の取扱い並びに町と青年会議所の役割分担及び経費の負担を明確にすることを目的とする。

（共催に関する原則）

第2条 町と青年会議所は、お互いの立場を理解、尊重し、対等なパートナーとしての関係を保つように心がけるとともに、多様な町民の意見を集め、中立性、公平性及び公正性を担保しながら、町民討議会の開催に至る過程やその成果について町民に公開するものとする。

（個人情報の保護）

第3条 青年会議所は、個人情報保護のため、別紙「個人情報取扱特記事項」を遵守しなければならない。

（役割分担と経費の負担）

第4条 町と青年会議所の役割と責務は次のとおりとする。

1 青年会議所の役割と責務

- （1）町民討議会を円滑に実施するための準備委員会（担当委員会）組織を設置し、その運営に当たるものとする。
- （2）町民討議会の開催を広く町民に周知するため、広報活動に当たるものとする。
- （3）町民討議会の内容及びその手法等について報告書を作成し、町に提出するものとする。
- （4）町民への参加依頼書の発送の準備、町民からの参加申込書の受付及び参加者の決定を行うものとする。
- （5）町民討議会の開催場所を確保するものとする。
- （6）開催に係る町職員の人件費、町民への参加依頼書の発送費用以外の全ての経費を負担する。

2 町の役割と責務

- (1) 開催に伴う打ち合わせに参画する。
- (2) 町民討議会の開催を広く町民に周知するため、町の広報誌やホームページ等を活用し、広報活動に努めるものとする。
- (3) 住民基本台帳から参加候補者の無作為抽出作業を行うほか、町民への参加依頼書の発送費用を負担するものとする。
- (4) 町民討議会の討議テーマ決定に当たっての協議及び関係する情報を提供するものとする。

(有効期限)

第5条 この協定書は町と青年会議所との合意をもって発効し、本事業が終了した時点で失効するものとする。

(協定の解除)

第6条 町、青年会議所の双方あるいは片方より協定締結後やむを得ない状況により、本事業の継続が困難あるいは不可能な状況となった場合には協議の上事業を中止あるいは延期することができ、本協定も解除できるものとする。

(その他)

第7条 本協定に定めのない事項で、町民討議会を実施する上で必要と認められるものについては、町と青年会議所が協議の上決定するものとする。

この協定書の締結を証するため、本書2通を作成し、町及び青年会議所双方記名押印のうえ、各自1通を所持するものとする。

令和元年7月31日

北足立郡伊奈町大字小室9493

伊奈町長 大島 清

さいたま市大宮区仲町2-15 矢島ビル3階
公益社団法人 埼玉中央青年会議所

理事長 木田 高史

2019年8月吉日

様

伊奈町長 大島 清
公益社団法人
埼玉中央青年会議所
理事長 木田 高史

伊奈町いきいきミーティング「伊奈町民討議会」 参加決定通知書

拝啓 時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

このたびは『伊奈町いきいきミーティング「伊奈町民討議会」』にお申し込みいただき誠にありがとうございました。

つきましては首記の町民討議会へのご参加いただくことが決定いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

9月28日に開催致します町民討議会は、昼食をご用意させていただいております。

当日のご参加をお待ちしておりますので、よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

- | | | | |
|-------|--------|---------------|-----------|
| 1. 日時 | 町民討議会 | 令和元年9月28日(土) | 10:30受付開始 |
| | | 11:00開会 | 16:00閉会予定 |
| | 報告書作成会 | 令和元年10月26日(土) | 13:30受付開始 |
| | | 14:00開会 | 16:00閉会予定 |
| | 報告会 | 令和元年11月16日(土) | 13:40受付開始 |
| | | 14:00開会 | 16:00閉会予定 |

2. 会場

町民討議会

会場：埼玉県県民活動総合センター 第2会議室

埼玉県北足立郡伊奈町内宿台6-26 会場電話：048-728-7111

報告書作成会

会場：伊奈町役場3階 第3会議室

埼玉県北足立郡伊奈町大字小室9493 会場電話：048-721-2111

報告会

会場：伊奈町ふれあい活動センター（ゆめくる）2階 会議室1・2

伊奈町大字小室2450番地1 会場電話：048-724-0717

(※各会場案内図は裏面をご参照ください。)

3. プログラム 別添『伊奈町いきいきミーティング「伊奈町民討議会」参加討議者ガイドブック』のとおり。

※当日の討議を円滑に進めるため、必ず事前にお読みください。

※当日もこの参加討議者ガイドブックをご持参ください。

4. お問い合わせ 公益社団法人埼玉中央青年会議所 まちの未来創造委員会

電話：048-647-3315 FAX：048-647-3316

(担当者：委員長 山中得之信、副委員長 浦山 和也)

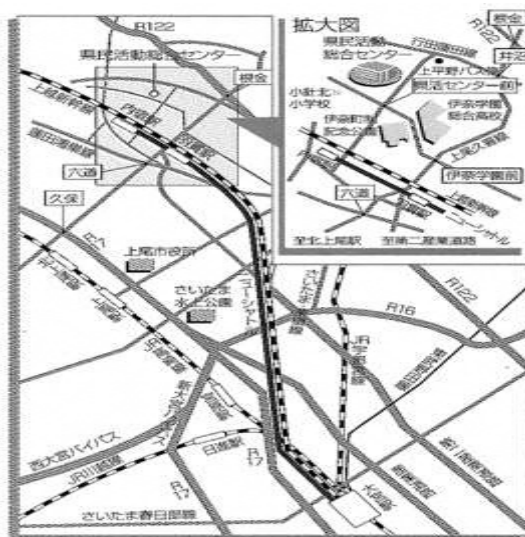
5. 当日の緊急連絡先

まちの未来創造委員会 委員長 山中得之信 090-9092-3470

副委員長 浦山 和也 090-9373-2234

6. 会場案内

埼玉県県民活動総合センター



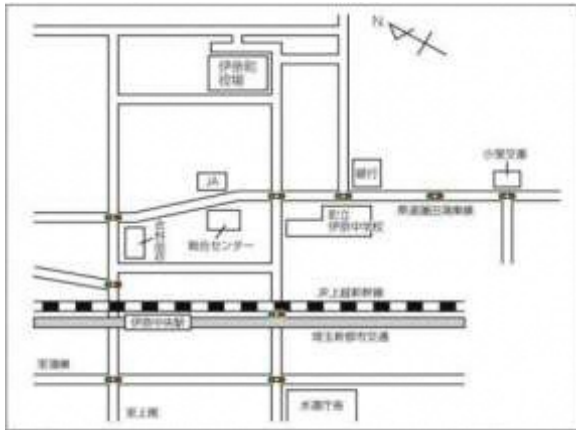
住所：埼玉県北足立郡伊奈町内宿台6-26

電話：048-728-7111

・大宮駅から埼玉新都市交通ニューシャトル（内宿（うちじゅく）行き）で、内宿駅まで約25分、内宿駅から無料送迎バスで3分。または徒歩約15分。

・JR宇都宮線蓮田駅下車（西口）、朝日バス（丸谷行きまたは八幡神社行き、または菖蒲車庫行き）で、約20分。上平野バス停下車、徒歩12分。

伊奈町役場案内図



住所：埼玉県北足立郡伊奈町大字小室 9 4 9 3

電話：0 4 8－7 2 1－2 1 1 1

- ・埼玉新都市交通伊奈線「ニューシャトル」伊奈中央駅下車 徒歩 1 0 分
- ・J R 上尾駅東口から朝日バス「伊奈役場行」に乗車、終点伊奈役場下車
- ・J R 蓮田駅西口からけんちゃんバス「上尾駅東口行（日本薬科大学経由）」に乗車、伊奈交番前下車 徒歩 1 0 分

伊奈町ふれあい活動センター（ゆめくる）



住所：埼玉県北足立郡伊奈町大字小室 2 4 5 0 番地 1

電話：0 4 8－7 2 4－0 7 1 7

- ・J R 宇都宮線蓮田駅下車 徒歩 2 0 分

伊奈町いきいきミーティング

参加者ガイド

I. 町民討議会開催にあたって

「伊奈町民討議会」は、本年7月に伊奈町と公益社団法人埼玉中央青年会議所がパートナーシップ協定を結び、第8回の開催に向けて準備を進めて参りました。

これまで討議会で話し合っていたくテーマや、運営方法などについて議論を重ね、こうして町民の皆様をお迎えしての町民討議会開催となりました。

皆様を募集するにあたっては、伊奈町に住民登録のある16歳以上の方から、年齢構成比や男女比など、伊奈町の人口構成を基準に1,500人を無作為に選出させていただき、参加依頼書を発送しました。その結果、多くの方々から参加のお申込みをいただき、抽選の結果、30の方々にご参加いただくこととなりました。

「個」と「公」の協和が叫ばれる今だからこそ、行政に頼ってばかりのまちづくりではなく、町民各々が自覚と責任を持ってまちづくりに参加し、そして協働により、まちづくりを進めていくことは大変重要なことと考えます。その意味で、この「伊奈町民討議会」で皆様が意見を交わすことは、伊奈町に前向きな変化をもたらすこととなるでしょう。

2020年の町制施行50周年に向けて記念事業実行委員会が立ち上がりました。今回皆様には具体的な事業案をご討議頂き、ご提案頂きたいと考えております。予算の関係や事業実現までの関係諸団体との調整等がありますが、50周年記念事業としての採用やそれ以降の伊奈町の事業案として検討させて頂きます。

討議会とは言っても、世間話のように和やかな雰囲気でお話いただければ結構です。気負わず、当日を楽しむ気持ちでご参加ください。

この「伊奈町民討議会」が、皆様にとってまちづくりへ参加する大きな第一歩となることを、委員会一同心より祈念申し上げます。

Ⅱ. 開催概要

1. テーマ 2020年町制施行50周年に向けて
～みんなで作ろう！50周年記念事業～
2. 日時 令和元年09月28日（土）11時00分開会（受付開始10時30分）
3. 場所 埼玉県県民活動総合センター 第2会議室
4. 当日のタイムスケジュール

11:00	開会
11:01	主催者挨拶
11:06	伊奈町長挨拶
11:10	情報提供
11:45	昼食
12:50	事業説明
13:00	討議～討議～【90分】
14:30	討議～まとめ～【30分】
15:00	討議～発表～【25分】
15:25	討議～投票～【15分】
15:40	アンケート・事務連絡
16:00	閉会

※ 11:45からの昼食はお弁当をご用意させていただいております。

Ⅱ．開催概要

5. 持ち物

- (1) 参加決定のお知らせ（本人確認のため）
- (2) 参加者ガイドブック
- (3) 筆記用具

6. 会場での飲食について

皆様が気軽に話し合いができるよう、ペットボトルを所定の場所にご用意しております。

Ⅱ．開催概要

7．報告書作成会について

伊奈町民討議会で討議された内容については、報告書を町長へ提出する前に報告書作成会を開催し、皆様に討議結果をまとめさせていただきます。是非ともご参加いただき、報告書についてご意見をお願いします。

日時 令和元年10月26日（土） 14：00から

場所：伊奈町役場 3階 第3会議室

8．報告会について

報告書作成界にてまとめた内容を製本し、皆様にご確認いただきます。ここで承認されたものを伊奈町に提出させていただきます。

日時 令和元年11月16日（土） 14：00から

場所 伊奈町ふれあい活動センター（ゆめくる）2階 会議室1・2

Ⅱ．開催概要

9．報告書の提出と取り扱いについて

報告会でご承認いただいた報告書は後日提出させていただきます。

報告書の完成、提出は、12月を予定しており、報告会にご参加いただけなかった方には、この時期のお届けとなります。

また、伊奈町のホームページ、青年会議所ホームページに掲載され広く公開されます。

伊奈町役場ホームページ

<http://www.town.saitama-ina.lg.jp/>

公益社団法人埼玉中央青年会議所ホームページ

<http://www.jc766.com/>

10．参加決定後のキャンセル等

諸事情により参加できなくなってしまった場合は、事前に連絡をお願いします。

Ⅱ．開催概要

1 1．今後の連絡先

開催日当日以外の連絡はこちらへお願いします。

公益社団法人 埼玉中央青年会議所

伊奈町民討議会 担当委員会（まちの未来創造委員会）

〒330-0845 埼玉県さいたま市大宮区仲町2-15 矢島ビル3F

TEL 048-647-3315 FAX 048-647-3316

1 2．開催日当日の連絡先

当日諸事情により遅れる場合、または、急に参加できなくなってしまった場合など、開催日当日の連絡はこちらへお願いします。

伊奈町民討議会担当委員会 まちの未来創造委員会

委員長 山中得之信 携帯電話 090-9092-3470

副委員長 橋本 匡弘 携帯電話 090-3594-2927

V. 討議会の進め方

参考テーマ

私たちがまちづくり事業を作ろう

V. 討議会の進め方

①グループ

参加者は5～6人を1グループとし、5～6グループ計30人とします。

町民の方々が感じている伊奈町の魅力を具体的に事業として提案します。

また、これまで全く取り組んでいなかったことなども提案する機会とします。

- ① 伊奈町の魅力は何ですか？
- ② その魅力をさらに発展させるために出来ること、より多くの方に知ってもらうためにできることは何ですか？
- ③ 新しい伊奈町の魅力を作ろう。（例／マラソン大会、観光大使、等）
- ④ 具体的に事業として成功させるために出来ること。

進行役のテーブルサポーターが各テーブルに付くが、アドバイス程度で議論自体の方向性には予断を与えない。（タイムキーパーを置くときもある）

②情報提供

討論に入る前に行政担当者や有識者など専門家が情報提供者として、テーマに関する基礎知識や現在の取り組みなどを参加者にご説明します。

③自己紹介と役割分担

まずはじめに自己紹介をしてください。このときに配られた名札に自分の名前を書きましょう。

その後、進行係、書記係、まとめ係、タイムキーパー係、発表係の5役を決めます。5名以上のグループは、まとめ係と書記係を2名にして、全員で役割を分担してください。

V. 討議会の進め方

④討議1 意見の収集

参加者は各自、附せんをつかって意見を出し合います。

書いた附せんはどんどん討議ボードに貼っていきます。

アイデアは、実現可能かどうか関係なくどんどん出してください。

バラ園がキレイ

花火大会がすごい

子育てしやすい

ゴミ拾いのボランティア

海外の人をターゲットに

通学路の安全

ライトアップの日を増やしてほしい

協賛企業を増やす

学校以外での勉強や交流の場

マラソン大会を開催する

観光大使を町民から応募

新しい特産品を作る（地ビール等）

討議2 意見の分類（グループピング）

集まった意見を整理していきます。
このときに附せんの意見を書いた人に説明してもらったり、グループピングを手伝ってもらったりしましょう。

グループピングが終わるとまとめの作業に入ります。最終的に3つほどの意見に集約します。

相手のアイデアを批判しないでください。

自分の意見は手短かに述べてください。
参加者全員が発言できるよう配慮してください。

他の人の意見をさえぎらないで最後まで聞いてください。

他の人の意見を聞いて、自分の意見を変えても大丈夫です。

私たちが事業を作ろう！

バラ祭り

ライトアップの日
を増やす

結婚式を挙げる人
を増やす

交通整理のボラン
ティア

バラの時期以外の
企画

特産品

地ビールを作る

海外の人をター
ゲットに

子育て

役場でイベントを
開催する

その他

ゴミ拾い

観光大使

意見のまとめ 発表用紙の記入

まとめ1 バラ園で結婚式を挙げる人を増やすために、伊奈町の隣接市の広報誌などにもPRする。盛り上げる演出をするためにボランティアスタッフを募る。	投票
まとめ2 花火大会での有料席を増加の他、席にセレブ席や婚活席などの料金に差額を付ける。他市との協働を働きかけ予算の確保を図る。	投票
まとめ3 子育て世帯のために、役場を開放してイベントを開催する。高齢者世代に講師をしてもらう。	投票
備考 新たな特産品として地ビールを作る。	

3つの意見に
まとめて下さい

これは残したいと
という意見は
残してください

⑤発表

まとめのシートを所定の場所に掲示し、発表係がまとめた内容を発表します。

このときどうしてこのような意見となったのかということも説明し、参加者が投票しやすいようにします。

⑥投票

各グループの意見に対して参加者全員が自分の賛同する意見に対しマークを貼るという方法で投票します。

参加者は各自3ポイント保有し、ほかのグループの意見に投票しても構いませんし、1つの意見に対して複数投票しても構いません。

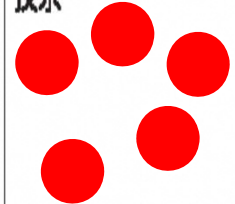
これはどの意見が一番いいか決めるのではなく市民の考え方の傾向、意識を知る事が目的で結論を出すわけではありません。

報告書には意見ごとの票数が明記されます。3つの意見以外で、残したい意見、捨てがたい意見も1つ出せます。(投票の対象にはなりません)

まとめ1

バラ園で結婚式を挙げる人を増やすために、伊奈町の隣接市の広報誌などにもPRする。盛り上げる演出をするためにボランティアスタッフを募る。

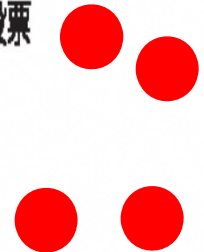
投票



まとめ2

花火大会での有料席を増加の他、席にセレブ席や婚活席などの料金に差額を付ける。他市との協働を働きかけ予算の確保を図る。

投票



まとめ3

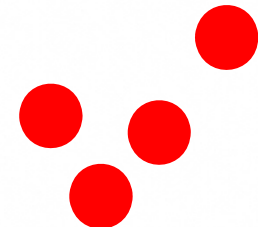
子育て世帯のために、役場を開放してイベントを開催する。高齢者世代に講師をしてもらう。

投票



備考

新たな特産品として地ビールを作る。



Ⅲ. 話し合いのルールと注意点

話し合いのルール

1 ニックネームで呼び合しましょう。

- ・町民同士お互いを尊重しあってください。

2 いろんな意見はみんなの財産

- ・他の方の意見は否定しないでください。

3 自由な発想、恥ずかしがらずに

- ・むずかしく考えずに気軽に提案してください。

4 みんなで楽しく話し合い

- ・皆さんが参加できるように気遣いをしてください。

注意点

参加討議者の皆様にとって討議しやすい環境をつくるため、以下のことにご協力ください。

討議中

- ・情報提供や討議中の携帯電話・メールのご利用はご遠慮ください。
- ・討議中のパソコンの使用や個人による録音・カメラ・ビデオ等による撮影は、原則としてご遠慮ください。
- ・主催者側が討議風景をカメラ・ビデオ等で撮影する場合があります。
- ・名札は必ずつけてください。

Ⅲ. 話し合いのルールと注意点

全体

- ・ 警備・安全保障の点から指定の場所以外に立ち入らないでください。
- ・ 施設内は禁煙です。喫煙は休憩時間中に所定の場所をお願いいたします。
- ・ ごみはお持ち帰りください。ペットボトルは回収いたします。
- ・ 自己責任となりますので、貴重品の管理には十分ご注意ください。

あとがき

今年で8回目となります伊奈町民討議会に参加してくださいました伊奈町民の皆様、県立伊奈学園総合高等学校、私立国際学院高等学校の皆様、共催の伊奈町様、ご協力頂きました伊奈町商工会の皆様、伊奈町商工会青年部の皆様、情報提供をしてくださいました皆様、誠にありがとうございました。町民の皆様の温かいご協力とご理解の下、無事に開催することが出来たことを心より感謝申し上げます。

今年の町民討議会では、19名の町民の皆様に御参加いただきました。また、12名の学生の皆様にもご参加いただき、グループ討議がより活性化し、非常に多くの意見が引き出されました。今回のテーマである2020年町制施行50周年に向けて～みんなで作ろう！50周年記念事業～について、目新しいテーマではありましたが、町民の皆様がしっかりと積極的に意見を出しあって活気のある討議会となり、行政に対する提言をまとめることができました。未来の伊奈町についてという観点で討議できたことで町に対して関心を深めるいい経験になった、面白かった等町民の皆様からも御好評をいただくことができました。町民の皆様の声を提言としてまとめさせていただくことが、伊奈町の更なる発展に繋がればと切に願い、結びとさせていただきます。

令和元年12月

公益社団法人埼玉中央青年会議所

まちの未来創造委員会 委員長 山中得之信

伊奈町いきいきミーティング「伊奈町民討議会」～実施報告書～

作 成：公益社団法人埼玉中央青年会議所

作成日：令和元年 12 月 04 日

2019 年度 公益社団法人埼玉中央青年会議所

第 24 代理事長 木田 高史

副理事長 池上 力哉

担当常任理事 沢目 教輔

まちの未来創造委員会

委員長 山中得之信

副委員長 橋本 匡弘、浦山 和也

幹 事 内山 泰宏、澤田 直樹、竹内 優騎

委 員 飯塚 祐樹、池田 良枝、市川 卓弥、市原 啓吾、伊藤 啓介、
小林 徹、齋藤 秀樹、高林 雄也、田村 嘉康、中村 真人

公益社団法人埼玉中央青年会議所ホームページ

<http://www.jc766.com/>

伊奈町ホームページ

<http://www.town.saitama-ina.lg.jp/>